

実施要綱

人材育成プログラム

2026

17,248人が参加しました！



～自立への旅立ち～
2026年 夏のアカデミックホームステイ

詳細は資料編をご請求ください

お問い合わせ・お申し込み先

オンライン説明会
ZOOMにて開催

日時 2026年3月15日(日)
4月 5 日(日)/19日(日)
5月 6 日(水・振休)/24日(日)
(午前の部) 9:30~12:00
(午後の部) 13:30~16:00
ZOOMミーティングID: 940 412 0761
パスコード: mncc1234

(株)南日本カルチャーセンター

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目10番19号

TEL 099(257)4333(代表)

FAX 099(250)0321

E-mail ahs@mncc.jp

ホームページ www.mncc.jp

観光庁長官登録旅行業第1355号 (社)日本旅行業協会正会員

総合旅行業務取扱管理者 濱田 逸平

営業時間 平日 9:00~18:00 (3~8月) 土日祝 休み

9:00~17:00 (9~2月)

お問い合わせ専用フリーダイヤル : 0120-212122

募集内容

◇ 研修目的

中学生、高校生、大学生を対象として、アメリカの一般家庭に家族の一員として約3週間滞在し、家庭生活、学校生活、市民生活のそれぞれを体験しながら、言葉と心のふれあいにより、幅広い視野、国際感覚、語学力の向上を図り、研修生の「早期の自立を目指す」プログラムです。

◇ 研修参加資格

- ◇ 日本国籍を有する中学生、高校生、大学生に限る
- ◇ 心身健康で、自分の身の回りのことを一人でできること（詳細は資料編参照のこと）
- ◇ 異文化や英語に強い興味と関心があり、英語で積極的に会話を行う意欲のあること
- ◇ 参加者、保護者とも配布された資料を理解し、センターの指示、決定事項を遵守できること
- ◇ 参加者、保護者ともプログラムの趣旨を理解していること
- ◇ 携帯電話を持って行かないこと
- ◇ オリエンテーションに参加すること

◇ 研修期間 2026年7月下旬から約3週間

※滞在地（行先）と研修期間（出発日と帰国日）は、グループで異なり、研修生の地域や学年を考慮して、センターで決定します。

◇ 研修費用

- 658,000円（那覇空港発着料金）
- 638,000円（福岡空港、鹿児島空港発着料金）

◇ 募集定員 200人

◇ ホームステイ地

アメリカ合衆国（ワシントン州、オレゴン州、カリフォルニア州を中心に、中西部に亘る選定された地域）

◇ 申込締切日

2026年6月1日(月)（但し、定員になり次第、締め切ります。）

◇ 利用航空会社

日本航空、全日空、ユナイテッド航空、大韓航空、デルタ航空、エバー航空、中華航空、アシアナ航空、エアカナダ、アメリカン航空、スターラックス航空

◇ 研修費用の範囲

◇ 研修費用に含まれるもの

1. 日本から米国の往復航空運賃エコノミークラス
2. 米国到着後、ステイ地までの交通費及び帰りの空港までの交通費
3. 期間中の授業料、及び研修教材費
4. 期間中の午後に計画されたプログラムの交通費、入場料、施設使用料
5. 終日研修における交通費、入場料、見学費
6. 米国公益教育法人の運営費用
7. 米国内における団体行動中の費用
8. 現地教師の期間中の人件費
9. オリエンテーション、異文化体験報告会費用
10. 往復の旅程中に発生する宿泊費用（食事代は除く）

11. 集合から解散までに発生する団体行動中の交通費一切

12. 引率指導者同行費用一切

※家庭内での食事はホストファミリーの好意により提供されます。

※上記内容の一部を利用されなかった場合でも、当該費用の一部を返金することはありません。

◇ 研修費用に含まれないもの

1. 米国税関申告書作成、携帯品・別送品申告書作成料、ESTA代理申請料や有効性確認などの費用 9,000円
2. ESTA申請料 約40ドル（有効なESTAの所有が確認された際は不要）
3. パスポート印紙代（持者は不要）
4. 米国の出入国通行税、入国審査料、税関審査料、検疫使用料、米国保安料、空港施設使用料等 約9,000円
5. 日本の空港施設使用料や旅客保安サービス料、国際観光旅客税、航空保険特別料金、空港税等 約8,500円
6. 燃油サーチャージ料（約51,000円）
(2026年1月20日現在)
7. 任意の海外旅行保険料
8. 個人的なお小遣い
9. 超過航空受託手荷物料金
10. 犬、猫などのペットがいない家庭を希望する方の追加料金15,000円（該当者のみ）

※天候などの当社の関与し得ない事由のため、当初のスケジュールと異なり、ホテルに宿泊しなければならない場合は、宿泊費や食費が別途必要になる場合があります。

※燃油サーチャージ料は、燃油原価の高騰に伴い、航空会社が国土交通省に申請し、認可されたもので、航空運賃とは異なる付加的な運賃であり、区間や航空会社により異なり、一時的なものとして流動的に実施されております。

◇ 研修管理

添乗員は同行しませんが、引率指導者（プログラムアドバイザー）が国際線出発空港から同行します。期間中はセンター職員と引率指導者が連絡を取り合いながら、適切なスケジュールや活動内容の実施、運営に関する管理監督を行います。

◇ 為替変動による研修費用の変更について

このプログラムは、2026年1月20日時点の航空運賃、料金を基準として、研修費用の算出が行われております。研修費用は、航空運賃の改定や円ドル為替相場の変動に伴い、その変更が起こることがあります。資料編の「その他のプログラム条件」で明記されていますように、航空運賃の大幅な改定があった場合は、その増額、減額分が研修費用に反映されます。また、円ドルの為替相場は変動相場制ですので、その価格変動は常に起きておりますが、それを反映させることは現実的ではありません。そこで、このプログラムにおきましては、2026年6月20日の円ドル為替相場のTTSレートを基準値とし、その日のレートが1ドル170円以上の場合や、140円以下の場合は、研修費用を再検討し、研修費用の増額、もしくは減額を行う場合があります。

研修内容

① 研修内容概略

原則として、1グループ約25人の研修生と日本人引率指導者1人で編成し、出発から帰国までこのグループ単位で活動します。米国到着後は、現地教師が2人グループに合流し、活動を共にします。

② 現地教師

現地では原則として、1グループにつき2人の米国人教師（ティーチャーコーディネーター）が付き、研修生のお世話をします。午前中は授業を行い、午後の活動や終日研修、ホストファミリーのことでも、スケジュールのことでも、プログラムに関するあらゆる相談に、引率指導者同様、この先生が応じてくれます。

③ 引率指導者

引率指導者はプログラムアドバイザー（PA）と呼ばれ、グループのリーダーとして、日本を出発し帰国するまで、参加者の指導、助言にあたります。現地でも参加者と同じステイ地に滞在しており、基本的に全てのグループ活動に同行します。主な役目は、研修生の生徒指導であり、カウンセラーであり、プログラム助言者で、決して研修生の通訳ではありません。

④ ウエルカムパーティーとさよならパーティー

アメリカ到着後、ウェルカムパーティーが開かれます。これは、アメリカの先生、ホストファミリーが中心になって参加者の皆さんを歓迎するパーティーです。帰国前に行われるのが、さよならパーティーです。これは、参加者の皆さんがあなたがお世話になった先生方や、ホストファミリーへの感謝を込めて行うもので、日本料理を作ったり、歌や踊りや特技などを披露したりします。

⑤ 授業

平日の午前中9時から12時までの3時間、アカデミックセンターで、2人の現地教師による授業が行われます。アメリカの生活習慣や家庭生活について学習し、市民生活や生活習慣、文化などを幅広く学習します。例えば、「アメリカのお金」に関する単元では、アメリカのドルやセントについて学び、現地で買い物をする際に、そのことがすぐに活かせるように指導されます。「祝祭日」の単元では、アメリカのイースター、ハロウィーン、クリスマスなどのしきたりや過ごし方などを学習し、逆に研修生は、日本のお正月や七五三、節分、雛祭りなどについてホストファミリーに日本の祝日を教えるなど、多種多様の内容が盛り込まれ、学ぶ意欲のある生徒や英語力の高い研修生にとっては、最高の学びの場となることでしょう。また、宿題も出され、帰宅後、ホストファミリーに質問しなければ分からない内容となっています。ホームステイ当初の話題のない時期に、ホストファミリーと研修生の会話が促進されるようにセンターは仕掛けているのです。

⑥ ランチタイム

授業が終わって、正午から午後1時まで昼食となります。毎日の昼食はホストファミリー宅から弁当を持参します。日本のお弁当とは異なり、サンドウイッチや果物、飲物、スナック類がアメリカの昼食となります。

⑦ 社会見学と文化交換会とレクリエーション

平日の午後（1時から4時までの3時間）には、社会見学や文化交換会やレクリエーションなどの活動が予定されています。社会見学は、ホームステイ地区の様々な産業や地域施設を見学し、地域を知る絶好の機会です。文化交換会は、地域の住民を招待し、日本文化を紹介し、アメリカ文化との比較を通じて学びあう活動です。レクリエーションはスポーツ活動などが予定されています。

⑧ ボランティア活動

午後の活動の一環として、様々なボランティア活動に取り組みます。その活動を通して寄付金（Donation）を募り、その基金でアメリカの子どもたちを日本に招待するジャパンホームステイという活動を行っています。主な活動内容は、ベーカセールやカーオッシュやフリーマーケットなどです。フリーマーケットでは、日本から不要品を持って行き、販売します。

⑨ 終日研修

期間中3回、終日研修があります。これは、一日バス遠足のようなもので、ホームステイ地区周辺の名所旧跡や観光地などを訪問します。

⑩ 週末

土曜日、日曜日の週末には、授業やグループ活動等の予定されたスケジュールではなく、フリーとなり、ホストファミリーと自由に過ごす時間になります。ホストファミリーによって過ごし方は異なり、「ショッピングに行くとか、観光地に行くとか、キャンプに行くなどと考えがちですが、自分のホストファミリーと自宅で、「会話したり、ゲームをして一緒に過ごす」などの体験をした方がより親密になり、有意義でしょう。

⑪ 修了証書

プログラムが終わったら、さよならパーティーで各先生方の署名入り修了証書が、ひとりひとりに渡されます。

⑫ 異文化体験報告会

体験後、何を学んだかについての報告会で、研修の総括を行います。多くの研修生が陥りやすい問題点、及び傾向を列挙説明し、帰国後の研修生の日常生活や学校生活がスムーズに再適応できるように指導します。引率教諭作成のグループ活動文集が配布されます。

⑬ 1週間の基本的なスケジュール

TIME DAY	9:00AM	12:00PM	1:00PM	4:00PM
月	アカデミック センターで授業	昼 食	社会見学 文化交換会	帰 宅
水	終 日 研 修			
木	アカデミック センターで授業	昼 食	レクリエーション	
金			ボランティア活動	
土	週末は授業はなく、ホストファミリーと過ごします。			
日				

※実際の具体的なスケジュールはオリエンテーション時に配布します。

申込方法

申込方法

お申し込みには「参加申込書」と「参加申込金」の2点が必要です。

◆参加申込書 資料編巻末の申込書にご記入ください。

◆参加申込金 5万円（研修費の一部に充当します。）

以上の2点を南日本カルチャーセンターに現金書留でご郵送ください。申込金は銀行振り込みでも構いません。到着次第、受諾書、ガイドブック、手続書類一式をお送りします。

申込先及び振込先

申込先

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号

株式会社 南日本カルチャーセンター

振込先

三井住友銀行 鹿児島支店 普通口座 828282

肥後銀行 鹿児島支店 普通口座 1055554

南日本銀行 本店 普通口座 230800

鹿児島銀行 鴨池支店 普通口座 3138706

沖縄銀行 本店 普通口座 1278721

郵便振替口座 02010-8-32878

口座名 (株)南日本(ミナミニホン)カルチャーセンター

※必ず参加者名で送金してください。

※残金は出発日前日から起算してさかのぼり、21日目にあたる日より前にお支払いください。

参加取消し

参加者のご都合によりお取消しになる場合は、次の取消料をお支払い頂きます。

6月15日から6月24日まで	50,000円
6月25日から起算して研修開始3日前まで	研修費用の20%
研修開始前々日より研修開始当日の研修開始前まで	研修費用の50%
研修開始後以降、又は無連絡不参加	研修費用の100%

プログラム参加者数

県別	小・中学生	高校生	大学生	合計
福岡県	67	60	67	194
長崎県	393	187	38	618
佐賀県	817	244	50	1111
大分県	902	448	45	1395
熊本県	1791	920	99	2810
宮崎県	1931	448	95	2474
鹿児島県	4417	1657	234	6308
沖縄県	1243	859	112	2214
その他	81	30	13	124
合計	11642	4853	753	17248

夏のアカデミックホームステイに参加して

初飛行機にして初海外は、不安と楽しみが複雑に入り混じって何とも言えない感情でした。初めは緊張していたけれど、ホストマザーがにこやかに待ってくださっていて、すでに温かさを感じました。ホストマザーは裁縫が好きで、一緒にキルト作りをしていくうちに、仲が縮まっていました。休日には、遊園地やシアトルに連れて行って下さって、ホストマザーの優しさを肌で感じ取ることができました。楽しい経験をさせてもらいましたが、その中に、ここには書ききれないくらいの学びも多くありました。約3週間は、「長いようで短い」という言葉がぴったりくらい、あつという間でした。

鹿児島県宇都中学校3年 小野 汐里

来年の参加者へのアドバイスは、「日常会話ぐらいの英語フレーズは覚えて、勉強することと、「失敗を恐れずに、自ら積極的に挑戦することです。そうしたら、アメリカンライフもめっちゃ楽しむことができるよ！一番は「楽しむ」ことが大切。これを心がけたから、自分もアメリカンライフを楽しむことができました。また、ホームステイに行かせてくれた両親に感謝します。これは、アメリカに行ってから気づいたことです。両親への一番のお土産は「感謝」をすることじゃないかなと私は思います。お家に帰ったら、まずは「ありがとうございます」と伝えようと思いました。

沖縄県読谷中学校2年 元長 優里

この3週間は僕の人生で一番楽しくわくわくした3週間でした。不安はありません、アメリカでの生活に心おどらせしていました。この3週間で、自分の思ったことを英語で話したり、洗濯や掃除など、自分一人で生きていける能力がとても成長したと感じました。アメリカでの思い出もたくさんあり、観光や授業の時のゲームなど、とても楽しく、いい仲間や先生に恵まれ、最高の学校生活でした。また、ホストファミリーやその友達と映画を観たり、ご飯を作ったり、たくさんの経験をさせてくれてとても楽しかったです。別れは辛かったです、最後には手紙と一緒にプレゼントもくれて、本当にいい人たちでした。

熊本県熊本高等学校1年 今村 悠大

私はこのプログラムの間に英語でコミュニケーションを取ることができるのかなと、すごく不安な気持ちでいっぱいでした。だけど、単語と単語をつなげて話したりして意外と伝わることができて、少し自信をつけることができました。自信がついてから積極的にホストファミリーに話しかけ、少し詰まつても、優しい顔で言い終わるまで待ってくれていました。また、ホストマザーのお手伝いをしてみると、思った以上に楽しく、これからは、できる限り毎日自分のお母さんの手伝いをしたいと思います。私は、ホームステイで引き取ってくれた人が、このホストファミリーでよかったなとすごく思いました。

佐賀県東原庠舎東部校8年 山田 紋夢

実際に参加してみて、初めの方は、間違いを恐れる自分になってしましましたが、現地の先生から“Try English”という言葉をかけられ、間違いをpositiveに捉えられるようになり、積極性を出すことができました。話す内容は分かりませんでしたが、簡単な英語で話しかけることによって、話は続いているんだと知りました。自分は、英語を上達する上で大切なことは、とにかく会話することだと思います。今回のプログラムは馴染めないと思い、とても心配でしたが、正直もっとこの仲間と一緒にアメリカで勉強したかったし、離れるのがとても悲しいです。この仲間と活動できた3週間は一生忘れないし、自分の誇りです。

長崎県長崎南山高等学校2年 向江 優晴

今回のプログラムを通して、ホストファミリーが楽しそうに会話する様子や、店の方々が見ず知らずの私に向けてくれる笑顔を見て、間違っても良いから挑戦して会話を楽しんでみようと思うことができた。今ではレジに並ぶたびに、どんな言葉をかけてくれるか楽しみになつたし、知らない人のコミュニケーションを自分からとれるようになりました。また、アメリカではアメリカ人がすることと同じようにしてみることで、一度きりの偶然の出会いを大切にする国民性を実感することができた。この経験は、日本国内で自分と違う環境や考え方を持つ人に会ったときに、互いを正しく知るために役立つと思う。

宮崎県宮崎大宮高等学校2年 南村 彩花

ステイ地に着き、バスの外にホストファミリーの方が見えて、とてもワクワクしていたのを見ています。ホストファミリーの皆さん全員優しく、ホストマザーのヘンリーさんは毎日朝食を作ってくれたり、ホストマザーのエリさんは色々な場所に連れて行ってくれて、本当の家族のようでした。また、ちょっとかわいをかけ合うくらい仲良くなつたクレッグくんという男の子と一緒に遊んだことがとても印象に残っています。別れる時、とても泣いていて、自分ももらい泣きました。クレッグと僕のホストファミリーの方も最後の最後まで手を振ってくれていて、本当に嬉しくて、一生の思い出になりました。

大分県玖珠美山高等学校1年 佐藤 守生